

平姓  
犬塚 本氏千葉

千葉介常胤八代千葉三郎常久吉  
嫡男

## 胤光

千葉六郎

権現様江遠州濱松ニ而被召出武田信玄与  
御一戦之節依軍功三州之犬塚村を被下氏ヲ  
犬塚ニ改

## 胤形

犬塚十右衛門

初重形

天正十七丑年二月三州幡豆郡高九千  
石御預り其節高三百石被下慶長十八  
丑年十二月十八日死其節伴覚兵衛ニ而  
三州幡豆郡中嶋村浄光寺ニ而葬  
歳ニ付家断絶

## 胤則

初重則

覚兵衛

覚右衛門

肥前国天草一揆御誅罰之時板倉内膳  
正手ニおいて戦功

覚兵衛胤則覚書

寛永十四丑年肥前国於嶋原之城天草  
四郎大夫一揆ヲ發シテ諸牢人士民等ヲ集メ  
都合三万七千餘之人数ニ而松倉長門守城ヲ  
乗取楯籠ル是ニ仍テ為打手板倉内膳正  
石谷十蔵ヲ被差遣候右内膳正之旗下ニ  
族シテ粉骨ヲ畫シ相働内膳正每度賞美  
之然ニ翌寅正月朔日内膳正討死之節  
覚兵衛胤則城之堀際を一所ニ附参り  
内膳正死骸ヲカコイ退ル時證據人印奥  
左太夫と言葉ヲ合セ一揆之者大勢切拂  
本陣江引返ス同二月板倉主水佐江十文  
字之鎗覚兵衛持参主水佐ニ相渡シ夫ヨリ  
先懸テ太刀ニテ首ヲ取井上筑後守家来  
岡部右馬允板倉周防守家来鈴木  
茂右衛門ト言葉ヲ合依テ證據之状ニ通  
取リ天草退陣之後板倉主水佐方ヲ退  
江戸市ケ谷八幡下ニ住居仕候  
證據之状写

以上

一筆致啓上候二月廿八日之朝

於本丸 御働無比類高名

慥 見申し何方々も御尋候は

其段可申達候恐惶謹言

三月二日

重名

板倉周防守内

鈴木茂右衛門

板倉主水佐様御内

犬塚角兵衛様

御???

鈴木茂右衛門殿上神谷傳右衛門殿へ

御同場之儀申入候以上

御状拝見申候二月廿八日

於本丸先掛之働

無比類高名慥見申候

何方も御尋候はば其段可申

達候恐惶謹言

井上筑後守内

岡部右馬允

正忠  
(花押)

板倉主水佐様御内

犬塚角兵衛様

御??

寛文元丑年九月被召出高百俵

清揚院様江被為附甲府御城御番此時

覚右衛門与改○延宝元丑年五月隠居

○貞享四卯年六月廿二日死甲州山梨郡

東光寺村歸命院葬

以下略